

作品「スポーティーとエレガンスの融合 ～スポーティー・カクテルドレスの提案～」

白坂 文

Fusion of Sporty and Elegance ～ Proposal for Sporty Cocktail Dress ～

Aya SHIRASAKA

Abstract

Sports taste has been stabilized in recent trend. It represents the outfit coordination combining some sporty items. Not only on street fashion, but also luxury brands such as Gucci and Chloe released some sporty items caught attention of some celebrities and accelerated sports taste trend to spread. It is only recent that people started enjoy fashion in their daily life. Until 19th century, only nobles who live in a palace could enjoy fashion. Even in the beginning of 20th century, only limited crowd such as nobles, riches, and movie stars had a privilege to enjoy fashion. During these period, elegance was the key to fashion. However, André Courrèges who brought sporty element twisted the traditional concept of elegance in the fashion industry. Considering this trend of sports taste the author designed the cocktail dress inspired by sporty element for the 86th NDK fashion show. This report includes the process of designing and making of the dress for the show.

Keywords: Sports taste スポーツテイスト, Luxury brands ラグジュアリーブランド,
Elegant fashion エレガンスファッション, Sporty fashion スポーティーファッション,
Cocktail dress カクテルドレス

1. はじめに

吉村（2007）は「2006年ごろから海外のセレブたちが、普段着としてジャージの上下などを着用する傾向が生まれた。こうした傾向からファッションブランドとスポーツメーカーのコラボレーションも進み、スポーツメーカーのロゴ入りのおしゃれなウエアやストレッチの効いたジッパー使いドレスなどが続々と登場するようになっている」と述べ

ている⁽¹⁾。このような影響を受け、近年ファッション業界でもスポーツテイストファッションがトレンドになっている。

スポーツテイストファッションとは吉村によると「スポーツウェアの感覚を取り入れたファッションの意味」で⁽²⁾、近頃ではスポーツサンダル⁽³⁾ やスウェットシャツ⁽⁴⁾、ルーズスパッツ⁽⁵⁾ といったスポーティーなアイテムをタウンウェアとして取り入れたファッ

ションが、“旬な着こなし”として若者のストリートファッションを席捲している。

また、グッチ(写真1)⁽⁶⁾やクロエ(写真2)⁽⁷⁾といったラグジュアリーブランドが、スポーツテイストの“ライン(線)”を衿ぐり、袖口、ウエスト部分やパンツの側面に取り入れたコレクションを発表したことにより、一般の消費者に向け、トレンドがさらに加速したと言える。

スポーツメーカーとファッションブランドのコラボレーションの草分け的存在として、アディダスと山本耀司、ステラ・マッカートニーが挙げられる。今、最も人気の高い日本ブランドのサカイもまた、ナイキとコラボレーションし、アパレルとスニーカーを発売するように⁽⁸⁾、有名ファッションブランドとスポーツメーカーのコラボレーションが今後益々増加すると考えられる。

今回、2019年9月20日(金)ホテル阪急インターナショナル紫苑の間において開催された、第86回NDKファッションショーにおいて、スポーティーとエレガンスを融合させたデザインのドレス作品を提案した。現在トレンドとなっている、スポーツテイスト



写真2. クロエ2016-17AWコレクション⁽⁷⁾

ファッションをテーマにした、カクテルドレスをデザイン・制作した意義と経緯について述べる。

2. スポーティーな衣装の登場

20世紀に入り、ポール・ボワレによるコルセットからの解放⁽⁹⁾、ガブリエル・シャネルによるジャージー素材⁽¹⁰⁾や膝丈スカート⁽¹¹⁾の採用など、女性ファッションの大きな改革が行われた。

1960年代、スポーツ感覚を取り入れた機能的でシンプルな衣装が登場する。その代表的なデザイナーの一人としてアンドレ・クレージュ(以下、クレージュ)が挙げられる。

横田(2012)は「クレージュはミニスカートを1965年にオートクチュールコレクションで発表する(写真3)⁽¹²⁾。ミニとはいえ、ほとんど膝が出るか出ないかの丈だったが、大人の女性向けオートクチュールとしては大冒険だった。オートクチュールコレクションには、日本を含む世界のファッションジャーナリストが訪れ、最新の流行として本国に報じる。世界中で、ミニスカートがセンセーショナルに取り上げられた」と述べている⁽¹³⁾。



写真1. グッチ2016リゾートコレクション⁽⁶⁾

クレージュのミニスカートを中心としたスポーティーな衣装の登場によって、より若者向けのファッションが台頭したのである。



写真3. クレーージュの1965年のコレクション⁽¹²⁾

3. 作品のデザインコンセプト

今回、第86回NDKファッションショーに出品したカクテルドレスのデザインコンセプトは、『スポーティーとエレガンスの融合』である。スポーティーなイメージとして、例えばアディダスの「3本ライン」⁽¹⁴⁾があるが、この“ライン”のテイストを衿ぐりとウエストのベルト部分に配し、スポーティーな要素を取り入れた。

また、身頃とスカートをセパレート化することによって、スポーツウェア独特の軽快さを表現し、身頃の胸元とウエスト部分をアール状にカットして肌を見せることによって、若々しさを表現している。

4. 考察

ドレス生地は“落ち感”のあるアムンゼンを使用することにより、スカートのドレープが際立ち、またスカートのフロントと、身頃のバック部分にラッフルを施すことにより、

エレガントさと華やかさも表現している。

また、ラッフル部分では表地の赤から裏地の白を見せることにより、コントラストを強調してシャープな印象とした。

スポーツテイストの対極にあるエレガントなイメージをカクテルドレスにどう融合させるかがデザインの大きな課題であったが、スポーツテイストの要素であるラインやカッティング、シャープな色彩を、エレガントな要素である生地感やラッフルのディテールで調和・融合させることに成功したと考える。

NDKファッションショーの来場客や、NDKの正会員からは、カクテルドレスといえばエレガントという単一のイメージに捉われず、対極同士のイメージであっても上手く調和・融合させることによって、新しい切り口のカクテルドレスになったとの評価を得た。

引用・参考文献

- (1) 吉村誠一「増補最新版ファッション新語辞典」織研新聞社、2007、p.56
- (2) 吉村誠一「増補最新版ファッション新語辞典」織研新聞社、2007、p.56
- (3) 中野香織「英和ファッション用語辞典」株式会社研究社、2010、p.246
- (4) 中野香織「英和ファッション用語辞典」株式会社研究社、2010、p.254
- (5) 吉村誠一「増補最新版ファッション新語辞典」織研新聞社、2007、p.358
- (6) VOGUE COLLECTION
https://www.vogue.co.jp/popup_collection/gucci/16-resort/runway#49
(2019年10月11日アクセス)
- (7) FASHION HEADLINE
<https://www.fashion-headline.com/article/6465/65789> (2019年10月11日アクセス)
- (8) FASHION PRESS

<https://www.fashion-press.net/news/52751> (2019年10月11日アクセス)

- (9) 文化服装学院編「20世紀ファッション」文化出版局, 2008, p.22
- (10) 横田尚美「20世紀からのファッション史リバイバルとリストイル」株式会社原書房, 2012, pp.45-48
- (11) 横田尚美「20世紀からのファッション史リバイバルとリストイル」株式会社原書房, 2012, p.108
- (12) デイディエ・グランバック「パリ・ブランドはいかにして創られたのか モードの物語」学校法人文化学園 文化出版局, 2013, p.129
- (13) 横田尚美「20世紀からのファッション史リバイバルとリストイル」株式会社原書房, 2012, p.119
- (14) アディダスのロゴのデザイン
<https://news.mynavi.jp/article/20130616-adidas/> (2019年10月11日アクセス)



2019年9月20日
NDK ファッションショー
カクテルドレス部門
ホテル阪急インターナショナル